

(決算書作成の確認)

(019の復習問題)

得

点

氏名

問題 (20点)

稲野商店の期末の資料に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。

なお、稲野商店の期首の繰越利益剰余金は¥ 40,000である。

現金	¥224,000	売掛金	¥98,000	売上高	¥2,304,000
買掛金	¥240,000	商品	¥195,000	売上原価	¥1,536,000
借入金	¥480,000	給料	¥480,000	水道光熱費	¥193,000
受取手数料	¥400,000	雑費	¥128,000	建物	¥910,000
資本金	¥300,000	繰越利益剰余金	¥ ?		

()

稲野商店 自令和×2年1月1日 至令和×2年12月31日 (単位：円)

[illegible]

()

稲野商店 令和×2年12月31日 (単位：円)

[illegible]

問 題 (20点)

稲野商店の期末の資料に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。
なお、稲野商店の期首の繰越利益剰余金は¥ 40,000である。

現 金	¥224,000	売 掛 金	¥ 98,000	売 上 高	¥2,304,000
買 掛 金	¥240,000	商 品	¥195,000	売 上 原 価	¥1,536,000
借 入 金	¥480,000	給 料	¥480,000	水道光熱費	¥193,000
受取手数料	¥400,000	雑 費	¥128,000	建 物	¥910,000
資 本 金	¥300,000	繰越利益剰余金	¥ ?		

(損 益 計 算 書)

稲野商店 自令和×2年1月1日 至令和×2年12月31日 (単位：円)

(費 用) の部	金 額	(収 益) の部	金 額
売 上 原 価	1,536,000	売 上 高	2,304,000
給 料	480,000	受取手数料	400,000
水道光熱費	193,000		
雑 費	128,000		
当期純利益	367,000		
	2,704,000		2,704,000

(貸 借 対 照 表)

稲野商店 令和×2年12月31日 (単位：円)

(資 産) の部	金 額	(負 債 ・ 資 本) の部	金 額
現 金	224,000	買 掛 金	240,000
売 掛 金	98,000	借 入 金	480,000
商 品	195,000	資 本 金	300,000
建 物	910,000	繰越利益剰余金	407,000
	1,427,000		1,427,000

氏名

得点	
----	--

問題 (20点)

次の淀川商店の決算整理後残高試算表に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。
なお、会計期間は1年である。

決算整理後残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
100,000	売掛金	
195,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	2,000
	減価償却累計額	90,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,536,000	仕入	
480,000	給料	
193,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
1,000	雑損	
1,000	貸倒引当金繰入	
45,000	減価償却費	
3,856,000		3,856,000

損益計算書

自令和×1年()月()日

淀川商店		至令和×2年()月()日		(単位:円)			
費用の部		金 額		収益の部		金 額	
()		()		売 上 高		()	
給 料		()		受取手数料		()	
水道光熱費		()					
雑 費		()					
()		()					
()		()					
()		()					
()		()					
()		()					
()		()					
		()				()	

貸借対照表

淀川商店 令和×2年()月()日現在 (単位:円)

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
現金	()	買掛金	()
売掛金	()	()	()
()	()	資本金	()
()	()	()	()
建物	()		
()	()		
	()		()

問題 (20点)

次の淀川商店の決算整理後残高試算表に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。
なお、会計期間は1年である。

決算整理後残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
100,000	売掛金	
195,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	2,000
	減価償却累計額	90,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,536,000	仕入	
480,000	給料	
193,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
1,000	雑損	
1,000	貸倒引当金繰入	
45,000	減価償却費	
3,856,000		3,856,000

損益計算書

自令和×1年(4)月(1)日

淀川商店		至令和×2年(3)月(31)日		(単位:円)			
費用の部		金 額		収益の部		金 額	
(売上原価)		(1,536,000)		売 上 高		(2,304,000)	
給 料		(480,000)		受取手数料		(400,000)	
水道光熱費		(193,000)					
雑 費		(81,000)					
(雑 損)		(1,000)					
(貸倒引当金繰入)		(1,000)					
(減価償却費)		(45,000)					
(当期純利益)		(367,000)					
		(2,704,000)				(2,704,000)	

貸借対照表

淀川商店 令和×2年(3)月(31)日現在 (単位:円)

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
現金	(224,000)	買掛金	(240,000)
売掛金	(100,000)	(借入金)	(480,000)
(貸倒引当金)	(2,000) (98,000)	資本金	(300,000)
(商品)	(195,000)	(繰越利益剰余金)	(407,000)
建物	(1,000,000)		
(減価償却累計額)	(90,000) (910,000)		
	(1,427,000)		(1,427,000)

得点	
----	--

氏 名 _____

問 題 (20点)

次の天王寺商店の決算整理後残高試算表に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。
なお、会計期間は1年である。

決算整理後残高試算表

令和×年12月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
2,400	現金	
163,200	当座預金	
215,000	売掛金	
57,600	繰越商品	
5,000	前払保険料	
43,000	備品	
70,500	土地	
	買掛金	147,700
	前受手数料	1,400
	貸倒引当金	4,300
	減価償却累計額	8,600
	資本金	200,000
	繰越利益剰余金	88,000
	売上	900,000
	受取手数料	5,600
	受取利息	4,400
645,100	仕入	
120,000	給料	
21,000	支払家賃	
10,000	保険料	
1,400	貸倒引当金繰入	
4,300	減価償却費	
1,500	有価証券売却損	
1,360,000		1,360,000

損益計算書

自令和×年()月()日

天王寺商店		至令和×年()月()日		(単位:円)
費用の部	金額	収益の部	金額	
()	()	売上高	()	
給料	()	受取手数料	()	
支払家賃	()	受取利息	()	
保険料	()			
()	()			
()	()			
()	()			
()	()			
	()			

貸借対照表

天王寺商店 令和×年()月()日現在 (単位:円)

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
現金	()	買掛金	()
当座預金	()	()	()
売掛金	()	資本金	()
()	()	()	()
()	()		
前払保険料	()		
備品	()		
()	()		
土地	()		
	()		()

問 題 (20点)

次の天王寺商店の決算整理後残高試算表に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。
なお、会計期間は1年である。

決算整理後残高試算表		
令和×年12月31日 (単位:円)		
借方残高	勘 定 科 目	貸方残高
2,400	現 金	
163,200	当 座 預 金	
215,000	売 掛 金	
57,600	繰越商品	
5,000	前払保険料	
43,000	備 品	
70,500	土 地	
	買 掛 金	147,700
	前受手数料	1,400
	貸倒引当金	4,300
	減価償却累計額	8,600
	資 本 金	200,000
	繰越利益剰余金	88,000
	売 上	900,000
	受取手数料	5,600
	受 取 利 息	4,400
645,100	仕 入	
120,000	給 料	
21,000	支 払 家 賃	
10,000	保 険 料	
1,400	貸倒引当金繰入	
4,300	減価償却費	
1,500	有価証券売却損	
1,360,000		1,360,000

損 益 計 算 書			
自令和×年(1)月(1)日			
天王寺商店		至令和×年(12)月(31)日	
		(単位:円)	
費用の部	金 額	収益の部	金 額
(売上原価)	(645,100)	売 上 高	(900,000)
給 料	(120,000)	受取手数料	(5,600)
支 払 家 賃	(21,000)	受 取 利 息	(4,400)
保 険 料	(10,000)		
(貸倒引当金繰入)	(1,400)		
(減価償却費)	(4,300)		
(有価証券売却損)	(1,500)		
(当期純利益)	(106,700)		
	(910,000)		(910,000)

貸 借 対 照 表			
天王寺商店 令和×年(12)月(31)日現在			
(単位:円)			
資産の部	金 額	負債・資本の部	金 額
現 金	(2,400)	買 掛 金	(147,700)
当 座 預 金	(163,200)	(前受手数料)	(1,400)
売 掛 金	(215,000)	資 本 金	(200,000)
(貸倒引当金)	(4,300) (210,700)	(繰越利益剰余金)	(194,700)
(商 品)	(57,600)		
前払保険料	(5,000)		
備 品	(43,000)		
(減価償却累計額)	(8,600) (34,400)		
土 地	(70,500)		
	(543,800)		(543,800)

氏名

得点	
----	--

問題 (20点)

次の淀川商店の決算整理前残高試算表と決算整理事項に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。なお、会計期間は1年である。

決算整理前残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
3,000	現金過不足	
100,000	売掛金	
180,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	1,000
	減価償却累計額	45,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,551,000	仕入	
480,000	給料	
191,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
3,810,000		3,810,000

損益計算書

自令和×1年()月()日

淀川商店 至令和×2年()月()日 (単位:円)

費用の部	金額	収益の部	金額
()	()	売上高	()
給料	()	受取手数料	()
水道光熱費	()		
雑費	()		
()	()		
()	()		
()	()		
()	()		
()	()		

貸借対照表

淀川商店 令和×2年()月()日現在 (単位:円)

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
現金	()	買掛金	()
売掛金	()	()	()
()	()	資本金	()
()	()	()	()
建物	()		
()	()		
()	()		

＜決算整理事項＞

- 現金過不足のうち、¥2,000は水道光熱費の記入漏れであることが判明していたが、残額がなお不明であったため、適切に処理した。
- 貸倒引当金は売掛金勘定残高の2%とする。(差額補充法)
- 期末商品棚卸高は¥195,000である。
- 建物について定額法によって減価償却を行う。ただし、残存価額は取得原価の10%、耐用年数は20年である。

問 題 (20点)

次の淀川商店の決算整理前残高試算表と決算整理事項に基づいて、損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。なお、会計期間は1年である。

決算整理前残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
3,000	現金過不足	
100,000	売掛金	
180,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	1,000
	減価償却累計額	45,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,551,000	仕入	
480,000	給料	
191,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
3,810,000		3,810,000

損益計算書

自令和×1年(4)月(1)日

淀川商店		至令和×2年(3)月(31)日		(単位:円)			
費用の部		金 額		収益の部		金 額	
(売上原価)		(1,536,000)		売上高		(2,304,000)	
給 料		(480,000)		受取手数料		(400,000)	
水道光熱費		(193,000)					
雑 費		(81,000)					
(雑 損)		(1,000)					
(貸倒引当金繰入)		(1,000)					
(減価償却費)		(45,000)					
(当期純利益)		(367,000)					
		(2,704,000)				(2,704,000)	

貸借対照表

淀川商店 令和×2年(3)月(31)日現在 (単位:円)

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
現金	(224,000)	買掛金	(240,000)
売掛金	(100,000)	(借入金)	(480,000)
(貸倒引当金)	(2,000) (98,000)	資本金	(300,000)
(商品)	(195,000)	(繰越利益剰余金)	(407,000)
建物	(1,000,000)		
(減価償却累計額)	(90,000) (910,000)		
	(1,427,000)		(1,427,000)

<決算整理事項>

- 現金過不足のうち、¥2,000は水道光熱費の記入漏れであることが判明していたが、残額がなお不明であったため、適切に処理した。
- 貸倒引当金は売掛金勘定残高の2%とする。(差額補充法)
- 期末商品棚卸高は¥195,000である。
- 建物について定額法によって減価償却を行う。ただし、残存価額は取得原価の10%,耐用年数は20年である。

- | | |
|--|---|
| 1. (水道光熱費) 2,000 (現金過不足) 3,000
(雑損) 1,000 | 3. (仕入) 180,000 (繰越商品) 180,000
(繰越商品) 195,000 (仕入) 195,000 |
| 2. (貸倒引当金繰入) 1,000 (貸倒引当金) 1,000
100,000×2%=2,000 2,000-1,000=1,000 | 4. (減価償却費) 45,000 (減価償却累計額) 45,000
1,000,000×0.9÷20=45,000 |

氏名

得点	
----	--

問題 (20点)

次の淀川商店の決算整理前残高試算表と決算整理事項に基づいて、決算整理後残高試算表を作成しなさい。
なお、会計期間は1年である。

決算整理前残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
3,000	現金過不足	
100,000	売掛金	
180,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	1,000
	減価償却累計額	45,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,551,000	仕入	
480,000	給料	
191,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
3,810,000		3,810,000

決算整理後残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
	現金	
	現金過不足	
	売掛金	
	繰越商品	
	建物	
	買掛金	
	借入金	
	貸倒引当金	
	減価償却累計額	
	資本金	
	繰越利益剰余金	
	売上	
	受取手数料	
	仕入	
	給料	
	水道光熱費	
	雑費	
	()	
	()	
	()	

<決算整理事項>

- 現金過不足のうち、¥2,000は水道光熱費の記入漏れであることが判明していたが、残額がなお不明であったため、適切に処理した。
- 貸倒引当金は売掛金勘定残高の2%とする。(差額補充法)
- 期末商品棚卸高は¥195,000である。
- 建物について定額法によって減価償却を行う。ただし、残存価額は取得原価の10%、耐用年数は20年である。

問 題 (20点)

次の淀川商店の決算整理前残高試算表と決算整理事項に基づいて、決算整理後残高試算表を作成しなさい。
なお、会計期間は1年である。

決算整理前残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
3,000	現金過不足	
100,000	売掛金	
180,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	1,000
	減価償却累計額	45,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,551,000	仕入	
480,000	給料	
191,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
3,810,000		3,810,000

決算整理後残高試算表

令和×2年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
224,000	現金	
	現金過不足	
100,000	売掛金	
195,000	繰越商品	
1,000,000	建物	
	買掛金	240,000
	借入金	480,000
	貸倒引当金	2,000
	減価償却累計額	90,000
	資本金	300,000
	繰越利益剰余金	40,000
	売上	2,304,000
	受取手数料	400,000
1,536,000	仕入	
480,000	給料	
193,000	水道光熱費	
81,000	雑費	
1,000	(雑損)	
1,000	(貸倒引当金繰入)	
45,000	(減価償却費)	
3,856,000		3,856,000

<決算整理事項>

- 現金過不足のうち、¥2,000は水道光熱費の記入漏れであることが判明していたが、残額がなお不明であったため、適切に処理した。
 - 貸倒引当金は売掛金勘定残高の2%とする。(差額補充法)
 - 期末商品棚卸高は¥195,000である。
 - 建物について定額法によって減価償却を行う。ただし、残存価額は取得原価の10%,耐用年数は20年である。
1. (水道光熱費) 2,000 (現金過不足) 3,000
(雑損) 1,000

2. (貸倒引当金繰入) 1,000 (貸倒引当金) 1,000
100,000×2%=2,000 2,000-1,000=1,000

3. (仕入) 180,000 (繰越商品) 180,000
(繰越商品) 195,000 (仕入) 195,000

4. (減価償却費) 45,000 (減価償却累計額) 45,000
1,000,000×0.9÷20=45,000

氏名 _____

得点

問 題 (20点)

次の資料に基づいて決算振替仕訳・勘定記入を行い、費用の勘定、収益の勘定および損益勘定を締め切りなさい。更に、資産の勘定、負債の勘定および資本の勘定の締め切りと開始記入をおこない、繰越試算表を作成しなさい。

現 金	
3 / 1 資本金 10,000	3 / 25 給 料 5,000
10 借入金 5,000	
20 受取手数料 8,000	

借 入 金	
	3 / 10 現 金 5,000
資 本 金	
	3 / 1 現 金 10,000

繰越利益剰余金

給 料	
3 / 25 現 金 5,000	

受取手数料	
	3 / 20 現 金 8,000

[決算振替仕訳]

費用の勘定を損益勘定に振替える。

収益の勘定を損益勘定に振替える。

損益勘定の残高を繰越利益剰余金勘定に振替える。

繰 越 試 算 表

令和××年3月31日(単位:円)

損 益	

借 方	勘定科目	貸 方
	現 金	
	借 入 金	
	資 本 金	
	繰越利益剰余金	

問 題 (20点)

次の資料に基づいて決算振替仕訳・勘定記入を行い、費用の勘定、収益の勘定および損益勘定を締め切りなさい。更に、資産の勘定、負債の勘定および資本の勘定の締め切りと開始記入をおこない、繰越試算表を作成しなさい。

現 金		借 入 金	
3/1 資本金 10,000	3/25 給料 5,000	3/31 次期繰越 <u>5,000</u>	3/10 現金 <u>5,000</u>
10 借入金 5,000	3/31 次期繰越 <u>18,000</u>		4/1 前期繰越 <u>5,000</u>
20 受取手数料 8,000			
<u>23,000</u>	<u>23,000</u>		
4/1 前期繰越 18,000			
		資 本 金	
		3/31 次期繰越 <u>10,000</u>	3/1 現金 <u>10,000</u>
			4/1 前期繰越 <u>10,000</u>
		繰越利益剰余金	
		3/31 次期繰越 <u>3,000</u>	3/31 損 益 <u>3,000</u>
			4/1 前期繰越 <u>3,000</u>
給 料		受取手数料	
3/25 現金 <u>5,000</u>	3/31 損 益 <u>5,000</u>	3/31 損 益 <u>8,000</u>	3/20 現金 <u>8,000</u>

〔決算振替仕訳〕

費用の勘定を損益勘定に振替える。

(損 益) 5,000 (給 料) 5,000

収益の勘定を損益勘定に振替える。

(受取手数料) 8,000 (損 益) 8,000

損益勘定の残高を繰越利益剰余金勘定に振替える。

(損 益) 3,000 (繰越利益剰余金) 3,000

繰 越 試 算 表

令和××年3月31日(単位:円)

損 益		繰 越 試 算 表		
		借 方	勘定科目	貸 方
3/31 給料 5,000	3/31 受取手数料 8,000	18,000	現 金	
" 繰越利益剰余金 <u>3,000</u>	<u>8,000</u>		借 入 金	5,000
<u>8,000</u>			資 本 金	10,000
			繰越利益剰余金	3,000
		18,000		18,000

氏名 _____

問 題 (20点)

次の資料にもとづいて、答案用紙に示してある商品売買関係の勘定と損益勘定について () に必要な記入を行いなさい。なお、会計期間は1月1日から12月31日までの1年間で、売上原価は仕入勘定で計算すること。

〔資料〕 期首商品棚卸高 ￥120,000
当期商品仕入高 ￥490,000
当期商品売上高 ￥795,000
期末商品棚卸高 ￥170,000

繰 越 商 品

1/ 1 前 期 繰 越 ()	12/31 () ()
12/31 () ()	" () ()
=====	=====

売 上

12/31 () ()	当期売上高 ()
=====	=====

仕 入

当期仕入高 ()	12/31 () ()
12/31 () ()	" 損 益 ()
=====	=====

損 益

12/31 () ()	12/31 () ()
=====	=====

問 題 (20点)

次の資料にもとづいて、答案用紙に示してある商品売買関係の勘定と損益勘定について（ ）に必要な記入を行いなさい。なお、会計期間は1月1日から12月31日までの1年間で、売上原価は仕入勘定で計算すること。

〔資料〕 期首商品棚卸高 ￥120,000
 当期商品仕入高 ￥490,000
 当期商品売上高 ￥795,000
 期末商品棚卸高 ￥170,000

繰 越 商 品

1/ 1 前 期 繰 越 (120,000)	12/31 (仕 入) (120,000)
12/31 (仕 入) (170,000)	〃 (次 期 繰 越) (170,000)
290,000	290,000

売 上

12/31 (損 益) (795,000)	当期売上高 (795,000)
-------------------------	-------------------

仕 入

12/31 当期仕入高 (490,000)	12/31 (繰越商品) (170,000)
(繰越商品) (120,000)	〃 損 益 (440,000)
610,000	610,000

損 益

12/31 (仕 入) (440,000)	12/31 (売 上) (795,000)
-------------------------	-------------------------

- ①売上原価の算定 (仕 入) 120,000 (繰越商品) 120,000
 (繰越商品) 170,000 (仕 入) 170,000
- ②収益を損益に振替 (売 上) 795,000 (損 益) 795,000
- ③費用を損益に振替 (損 益) 440,000 (仕 入) 440,000

氏名 _____

問 題 (20点)

次の商品売買取引に関する資料にもとづいて、解答用紙に示してある商品売買関係の勘定と損益勘定について（ ）に必要な記入を行いなさい。

- (注) 1. 資料は取引発生順に示してある。
 2. 売上原価は仕入勘定で計算し、引渡単価の計算は先入先出法による。
 3. 期末商品棚卸高の数量と単価は各自推定しなさい。
 4. 当期中の仕入と売上は便宜上まとめて記帳する。

〔資料〕

期首商品棚卸高	数 量	100個	単 価	@ ¥1,200
第1回商品仕入高	数 量	100個	単 価	@ ¥1,500
第1回商品売上高	数 量	150個	単 価	@ ¥2,500
第2回商品仕入高	数 量	200個	単 価	@ ¥1,700
第2回商品売上高	数 量	150個	単 価	@ ¥2,800
期末商品棚卸高				?

繰 越 商 品

1/ 1 前 期 繰 越	()	12/31 () ()
12/31 ()	()	" () ()

売 上

12/31 () ()	当期売上高 ()
---------------	-----------

仕 入

当期仕入高 ()	12/31 () ()
12/31 () ()	" 損 益 ()

損 益

12/31 () ()	12/31 () ()
---------------	---------------

問 題 (20点)

次の商品売買取引に関する資料にもとづいて、解答用紙に示してある商品売買関係の勘定と損益勘定について（ ）に必要な記入を行いなさい。

- (注) 1. 資料は取引発生順に示してある。
 2. 売上原価は仕入勘定で計算し、引渡単価の計算は先入先出法による。
 3. 期末商品棚卸高の数量と単価は各自推定しなさい。
 4. 当期中の仕入と売上は便宜上まとめて記帳する。

〔資料〕

期首商品棚卸高	数 量	100個	単 価	@ ¥1,200
第1回商品仕入高	数 量	100個	単 価	@ ¥1,500
第1回商品売上高	数 量	150個	単 価	@ ¥2,500
第2回商品仕入高	数 量	200個	単 価	@ ¥1,700
第2回商品売上高	数 量	150個	単 価	@ ¥2,800
期末商品棚卸高				?

繰 越 商 品

1/ 1 前期繰越 (120,000)	12/31 (仕 入) (120,000)
12/31 (仕 入) (170,000)	〃 (次期繰越) (170,000)
<u>290,000</u>	<u>290,000</u>

売 上

12/31 (損 益) (795,000)	当期売上高 (795,000)
-------------------------	-------------------

仕 入

当期仕入高 (490,000)	12/31 (繰越商品) (170,000)
12/31 (繰越商品) (120,000)	〃 損 益 (440,000)
<u>610,000</u>	<u>610,000</u>

損 益

12/31 (仕 入) (440,000)	12/31 (売 上) (795,000)
-------------------------	-------------------------

氏名

問題 1 次の各取引について仕訳しなさい。なお勘定科目は下記より選ぶこと。(20点)

現金	金	当座預金	受取手形	売掛金
貸付金	金	備入金	建物	支払手形
買掛金	金	借入金	資本	売掛上入
受取手数料	料	受取利息	雑収入	仕入
給料	料	交通費	消耗品費	支払家賃

- 現金¥1,000,000を資本金として、会社を設立、営業を開始した。
- 大手前銀行から現金¥500,000を借入れ、当座預金に預け入れた。
- 商品¥200,000を姫山商店から仕入れ、その代金は掛けとした。
- 原価¥150,000の商品を¥170,000で船場商店に売り渡し、代金は同店振出の小切手で受け取った。
- 従業員に今月分の給料¥180,000を現金で支払った。
- 西庄家具店から、事務用机¥110,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
- 営業のためにタクシーを利用し、その代金¥4,000を現金で支払った。
- 姫山商店に対する買掛金¥200,000を約束手形を振り出して支払った。
- かねてから大阪商店に注文していた商品¥260,000が到着し、引取運賃¥10,000を現金で支払った。なお、商品代金は月末にまとめて支払う契約である。
- 城見商店に商品(帳簿価格¥320,000)を¥500,000で売り渡し、代金は同店振出しの約束手形で受け取った。

	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

- 問題 1 次の各取引について仕訳しなさい。なお勘定科目は下記より選ぶこと。(20点)
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 現金 | 当座預金 | 受取手形 | 売掛金 |
| 貸付金 | 備入金 | 建物 | 支払手形 |
| 買掛金 | 借入金 | 資本 | 売上 |
| 受取手数料 | 受取利息 | 雑収入 | 仕入 |
| 給料 | 交通費 | 消耗品費 | 支払家賃 |
- 現金¥1,000,000を資本金として、会社を設立、営業を開始した。
 - 大手前銀行から現金¥500,000を借入れ、当座預金に預け入れた。
 - 商品¥200,000を姫山商店から仕入れ、その代金は掛けとした。
 - 原価¥150,000の商品を¥170,000で船場商店に売り渡し、代金は同店振出の小切手で受け取った。
 - 従業員に今月分の給料¥180,000を現金で支払った。
 - 西庄家具店から、事務用机¥110,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
 - 営業のためにタクシーを利用し、その代金¥4,000を現金で支払った。
 - 姫山商店に対する買掛金¥200,000を約束手形を振り出して支払った。
 - かねてから大阪商店に注文していた商品¥260,000が到着し、引取運賃¥10,000を現金で支払った。なお、商品代金は月末にまとめて支払う契約である。
 - 城見商店に商品(帳簿価格¥320,000)を¥500,000で売り渡し、代金は同店振出しの約束手形で受け取った。

	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
1	現金	1,000,000	資本金	1,000,000
2	当座預金	500,000	借入金	500,000
3	仕入	200,000	買掛金	200,000
4	現金	170,000	売上	170,000
5	給料	180,000	現金	180,000
6	備品	110,000	当座預金	110,000
7	交通費	4,000	現金	4,000
8	買掛金	200,000	支払手形	200,000
9	仕入	270,000	買掛金	260,000
			現金	10,000
10	受取手形	500,000	売上	500,000

問題2 (20点)

先に行った仕訳に基づき、勘定記入（金額のみでよい）を行い、合計残高試算表を作成しなさい。

現 金

1,000,000	180,000
170,000	4,000
	10,000

当 座 預 金

500,000	110,000
---------	---------

受 取 手 形

500,000	
---------	--

備 品

110,000	
---------	--

仕 入

200,000	
---------	--

270,000	
---------	--

給 料

180,000	
---------	--

支 払 手 形

	200,000
--	---------

買 掛 金

200,000	200,000
---------	---------

借 入 金

	260,000
--	---------

資 本 金

	500,000
--	---------

売 上

	1,000,000
--	-----------

交 通 費

	170,000
--	---------

	500,000
--	---------

4,000

4,000	
-------	--

合計残高試算表

令和××年3月31日

(単位：円)

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
976,000	1,170,000	現 金	194,000	
390,000	500,000	当 座 預 金	110,000	
500,000	500,000	受 取 手 形		
110,000	110,000	備 品		
		支 払 手 形	200,000	200,000
		買 掛 金	460,000	260,000
		借 入 金	500,000	500,000
		資 本 金	1,000,000	1,000,000
		売 上	670,000	670,000
470,000	470,000	仕 入		
180,000	180,000	給 料		
4,000	4,000	交 通 費		
2,630,000	3,134,000		3,134,000	2,630,000

氏名

問題 3 (20点)

次の決算整理後の各勘定に基づいて決算振替仕訳・勘定記入を行い、費用の勘定、収益の勘定及び損益勘定を締め切りなさい。なお、決算日は、3月31日であり、損益勘定については、日付、金額に加え、相手勘定も記入すること。

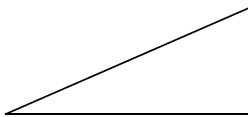
現 金	
1,000,000	180,000
170,000	4,000
	10,000
当 座 預 金	
500,000	110,000
受 取 手 形	
500,000	
備 品	
110,000	
仕 入	
200,000	
270,000	
給 料	
180,000	

支 払 手 形	
	200,000
買 掛 金	
200,000	200,000
	260,000
借 入 金	
	500,000
資 本 金	
	1,000,000
繰越利益剰余金	
売 上	
	170,000
	500,000
交 通 費	
4,000	

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
費用の振替仕訳				
収益の振替仕訳				
利益分の振替仕訳				

損 益

3/31 () ()
 " () ()
 " () ()
 " () ()
 ()

3/31 () ()

 ()

問題 3 (20点)

次の決算整理後の各勘定に基づいて決算振替仕訳・勘定記入を行い、費用の勘定、収益の勘定及び損益勘定を締め切りなさい。なお、決算日は、3月31日であり、損益勘定については、日付、金額に加え、相手勘定も記入すること。

現 金	
1, 000, 000	180, 000
170, 000	4, 000
	10, 000
当 座 預 金	
500, 000	110, 000
受 取 手 形	
500, 000	
備 品	
110, 000	

仕 入	
200, 000	3 / 31 損益 470, 000
270, 000	
470, 000	470, 000
給 料	
180, 000	3 / 31 損益 180, 000

支 払 手 形	
	200, 000
買 掛 金	
200, 000	200, 000
	260, 000
借 入 金	
	500, 000
資 本 金	
	1, 000, 000
繰越利益剰余金	
	3 / 31 損益 16, 000
売 上	
3 / 31 損益 670, 000	170, 000
	500, 000
670, 000	670, 000
交 通 費	
4, 000	3 / 31 損益 4, 000

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
費用の 振替 仕訳	損 益	654, 000	仕 入	470, 000
			給 料	180, 000
			交 通 費	4, 000
収益の 振替 仕訳	売 上	670, 000	損 益	670, 000
利益分 の振替 仕訳	損 益	16, 000	繰越利益剰余金	16, 000

損 益

3 / 31	(仕 入) (470, 000)
"	(給 料) (180, 000)
"	(交 通 費) (4, 000)
"	(繰越利益剰余金) (16, 000)
	(670, 000)

3 / 31	(売 上) (670, 000)
	(670, 000)

氏名 _____

問 題 (各 4 点 × 5 = 20 点)

次の取引の仕訳を行いなさい。

- 1 株式会社の設立にあたり、株式500株（1株の払込金額¥50,000）を発行し、全額の払込みを受け、払込金は当座預金とした。
- 2 増資を行うため、株式1,000株を1株当たり¥80,000の価額で発行し、全額の払込みを受け、払込金は当座預金とした。
- 3 決算において、当期純利益¥3,000,000を計上する。
- 4 株主総会の決議により、繰越利益剰余金の一部を、株主配当金¥1,000,000、利益準備金¥100,000として配当および処分した。
- 5 先に、株主総会で決定した株主配当金¥1,000,000を当座預金口座から支払った。

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

問 題 (各4点×5=20点)

次の取引の仕訳を行いなさい。

- 1 株式会社の設立にあたり、株式500株（1株の払込金額¥50,000）を発行し、全額の払込みを受け、払込金は当座預金とした。
- 2 増資を行うため、株式1,000株を1株当たり¥80,000の価額で発行し、全額の払込みを受け、払込金は当座預金とした。
- 3 決算において、当期純利益¥3,000,000を計上する。
- 4 株主総会の決議により、繰越利益剰余金の一部を、株主配当金¥1,000,000、利益準備金¥100,000として配当および処分した。
- 5 先に、株主総会で決定した株主配当金¥1,000,000を当座預金口座から支払った。

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	当 座 預 金	25,000,000	資 本 金	25,000,000
2	当 座 預 金	80,000,000	資 本 金	80,000,000
3	損 益	3,000,000	繰越利益剰余金	3,000,000
4	繰越利益剰余金	1,100,000	未 払 配 当 金	1,000,000
			利 益 準 備 金	100,000
5	未 払 配 当 金	1,000,000	当 座 預 金	1,000,000

氏名 _____

得点	
----	--

問 題 (各 4 点 × 5 = 20 点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金 普通預金 未払配当金 資本金
利益準備金 繰越利益剰余金 損益 支払配当金

- 1 株当たり、¥100,000で15株の株式を発行し、合計¥1,500,000の払込みを受けて株式会社を設立した。払込金はすべて普通預金口座に預け入れられた。
- 決算において、当期純利益¥80,000を計上する。
- 株式会社千代田商会は、当期の決算を行った結果、¥7,500,000の損失を計上した。
- 株主総会の決議により、当期期首の繰越利益剰余金¥36,000,000の一部を、配当金¥29,000,000、利益準備金¥2,900,000として配当および処分した。
- 株主総会において、繰越利益剰余金¥2,000,000の一部を次のとおり配当および処分した。なお、利益準備金は、社外流出分の10分の1を積み立てることとする。

配当金 ¥700,000

利益準備金 各自算定

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

問 題 (各 4 点 × 5 = 20 点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選び、正確に記入すること。

現 金 普 通 預 金 未 払 配 当 金 資 本 金
利 益 準 備 金 繰越利益剰余金 損 益 支 払 配 当 金

- 1 株当たり、¥100,000で15株の株式を発行し、合計¥1,500,000の払込みを受けて株式会社を設立した。払込金はすべて普通預金口座に預け入れられた。
- 決算において、当期純利益¥80,000を計上する。
- 株式会社千代田商会は、当期の決算を行った結果、¥7,500,000の損失を計上した。
- 株主総会の決議により、当期期首の繰越利益剰余金¥36,000,000の一部を、配当金¥29,000,000、利益準備金¥2,900,000として配当および処分した。
- 株主総会において、繰越利益剰余金¥2,000,000の一部を次のとおり配当および処分した。なお、利益準備金は、社外流出分の10分の1を積み立てることとする。

配当金 ¥700,000

利益準備金 各自算定

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
4	普 通 預 金	1,500,000	資 本 金	1,500,000
4	損 益	80,000	繰越利益剰余金	80,000
7	繰越利益剰余金	7,500,000	損 益	7,500,000
5	繰越利益剰余金	31,900,000	未 払 配 当 金	29,000,000
			利 益 準 備 金	2,900,000
1	繰越利益剰余金	770,000	未 払 配 当 金	700,000
			利 益 準 備 金	70,000

氏名 _____

得点	
----	--

問 題 (20点)

X2年4月1日に設立された日商株式会社の次の〔資料〕にもとづいて、下記の問に答えなさい。

〔資料〕

第1期 (X2年4月1日からX3年3月31日まで)

- ・決算において、当期純利益¥2,000,000を計上した。
- ・第1期には配当を行っていない。

第2期 (X3年4月1日からX4年3月31日まで)

- ・決算において、当期純損失¥350,000を計上した。
- ・第2期には配当を行っていない。

第3期 (X4年4月1日からX5年3月31日まで)

- ・6月25日に開催された株主総会において、繰越利益剰余金残高から次のように処分することが決議された。

株主配当金 ¥100,000 配当に伴う (①) の積立て ¥10,000

- ・6月28日に、株主配当金¥100,000を普通預金口座から支払った。
- ・決算において、当期純利益¥1,600,000を計上した。

問1 第2期の決算において、損益勘定で算定された当期純損失¥350,000を繰越利益剰余金勘定に振り替える仕訳を答えなさい。勘定科目については、〔語群〕の中から選定すること。

問2 第3期における繰越利益剰余金勘定の空欄①～④に入る適切な語句または金額を答えなさい。①と②については〔語群〕の中から選択すること。

繰越利益剰余金

6/25 未払配当金	100,000	4/1 前期繰越 (④)	
" (①)	10,000	3/31 () ()	
3/31 (②) (③)			
	()		()

〔語群〕

損 益 次期繰越 普通預金 利益準備金 資本金 繰越利益剰余金

問1

借方科目	金額	貸方科目	金額

問2

①	②	③	④

問 題 (20点)

X2年 4 月 1 日に設立された日商株式会社の次の〔資料〕にもとづいて、下記の問に答えなさい。

〔資料〕

第 1 期 (X2年 4 月 1 日から X3年 3 月 31 日まで)

- ・決算において、当期純利益 ¥2,000,000 を計上した。

(損 益) 2,000,000 (繰越利益剰余金) 2,000,000

- ・第 1 期には配当を行っていない。

第 2 期 (X3年 4 月 1 日から X4年 3 月 31 日まで)

- ・決算において、当期純損失 ¥350,000 を計上した。

(繰越利益剰余金) 350,000 (損 益) 350,000

- ・第 2 期には配当を行っていない。

第 3 期 (X4年 4 月 1 日から X5年 3 月 31 日まで)

- ・6 月 25 日に開催された株主総会において、繰越利益剰余金残高から次のように処分することが決議された。

株主配当金 ¥100,000

配当に伴う (①) の積立て ¥10,000

(繰越利益剰余金) 110,000 (未払配当金) 100,000

(利益準備金) 10,000

- ・6 月 28 日に、株主配当金 ¥100,000 を普通預金口座から支払った。

(未払配当金) 100,000 (普通預金) 100,000

- ・決算において、当期純利益 ¥1,600,000 を計上した。

(損 益) 1,600,000 (繰越利益剰余金) 1,600,000

問 1 第 2 期の決算において、損益勘定で算定された当期純損失 ¥350,000 を繰越利益剰余金勘定に振り替える仕訳を答えなさい。勘定科目については、〔語群〕の中から選定すること。

問 2 第 3 期における繰越利益剰余金勘定の空欄①～④に入る適切な語句または金額を答えなさい。①と②については〔語群〕の中から選択すること。

繰越利益剰余金

6/25 未払配当金	100,000	4/1 前期繰越 (④1,650,000)	
" (①利益準備金)	10,000	3/31 (損 益) (1,600,000)	
3/31 (②次期繰越) (③ 3,140,000)			
	(3,250,000)		(3,250,000)

〔語群〕

損 益 次期繰越 普通預金 利益準備金 資本金 繰越利益剰余金

問 1

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越利益剰余金	350,000	損 益	350,000

問 2

①	②	③	④
利益準備金	次期繰越	3,140,000	1,650,000